

(様式1)

**日本医療研究開発機構 難治性疾患実用化研究事業
研究開発提案書**

研究 課題名	日本語表記	〇〇〇〇
	英語表記	〇〇〇〇
公募名 (事業名)		希少難治性疾患の医療実用化の実現を目指す情報基盤開発 (難治性疾患実用化研究事業)
研究開発期間 (本提案における全研究期間)		契約締結日～ 令和 12 年 3 月 31 日(3 年間) 3 年以内に完了する可能性がある場合は、予定時期を記載ください。
研究費総額(直接経費)		全研究期間での研究費総額(XX.XXX 千円) ※「8. 各年度別経費内訳」の全研究期間の研究開発費合計と同じ金額を記載ください。
ヒト全ゲノムシーケンス 解析実施の有無		☐ 実施する ☒ 実施しない
研究 開 発 代 表 者	氏 名	(フリガナ)エイメド タロウ
		(漢字表記) 栄目戸 太郎
		(ローマ字表記) Taro Eimedo
	性別	☐ 男 ☐ 女 ☐ その他 ☐ 回答しない
	生年月(年齢)	19XX 年 X 月(XX 歳:令和 9 年 4 月 1 日時点)
	所属機関(正式名称)	学校法人大手町大学
	所属部署(部局・役職)	大学院医学研究科・教授
	研究代表者の情報	
研究開発代表者の研究歴 (主な職歴と研究内容)		

研究要約(和文)

【研究の背景】

〇〇〇

※各項目では改行してください。

※本欄に記載した内容は e-Rad の「公募の概要」欄に転記してください。なお、e-Rad では 1,000 字以内の字数制限があるため、記載内容の趣旨を損なわないよう適切に e-Rad に転記してください。

※この項目には図は含めないでください

【目的】

〇〇〇

【方法の概略】

〇〇〇

【期待される結果】

〇〇〇

《作成に当たっての留意事項》

- 1) 当該公募枠では【記載要領】を設けておりません。青文字が記載例や説明になっておりますので、よろしくご参照ください。また応募時にはこの青字の記載を削除して提出してください。
- 2) 提案書のフォントサイズは原則 10.5 ポイントを用いてください。図のキャプションに関してはそれ以下でも構いませんが視認性を担保できるサイズでの記載をお願いします。
- 3) 本文書は申請時から事後評価に至るまで一貫して使用・追記する事を想定しており、申請時には適合しない項目もあることをご了承ください。
- 4) 各段落において見本ではページを適宜区切っておりますが、詰めて記載していただいて構いません。
- 5) 文章で説明を行う際に、図表等を補足資料として貼付して構いません。
- 6) ご不明点がありましたら、rare-koubo@amed.go.jp にお問い合わせください。その際は、応募予定の公募枠を記載してください。なお、評価に関わる内容など事務局からは回答することができない場合もありますので、予めご了承ください。
- 7) この留意事項は審査には使いませんので、e-Rad 登録時にこのページは削除をお願いします。
- 8) 研究開発提案書に記載されている内容は、機構内及び他府省の担当課間で共有することがあります。記述内容は所属機関の知財担当者とも適宜相談のうえ、作成してください。

1-1. 研究概要



1-2. 研究体制

1-2-1. 個々の難病研究班における疾患レジストリの構築・運営の支援内容を説明して下さい。

1-2-2. 難病研究班が各疾患レジストリの品質管理を実施する際の、支援内容を説明して下さい。

1-2-3. 研究開発代表機関における、臨床研究支援部門の体制・規模等を説明して下さい。

1-2-4. 開発班における事務局の体制・規模等を説明してください。

1-2-5. 研究開発代表機関で必要とするデータストレージの規模・維持経費を説明して下さい。
(臨床情報のみの最低限の容量としてください)

1-2-6. 研究開発代表機関における情報セキュリティ管理体制を説明して下さい。

1-2-7. 経時的な臨床情報の追跡を可能とする体制を説明して下さい。

2. 研究班に関する情報

【研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報】

	氏名	所属機関※1	現在の専門	本提案の 令和9年度 研究経費※2 (千円)	エフ オー ト (%) ※3
	生年月(年齢:令和 9 年 4 月 1 日時点)	所属部署(部局)※1	学位(最終学歴) 学位取得年		
		役職※1	役割分担		
研究開発代表者	栄目戸 太郎	大手町大学	△△△	X,XXX	XX
	S49/11(XX)	△△△学部△△△学科	△△博士(大手町大学) H17 年		
		教授	研究の統括		
研究開発分担者	南尾 花子	大手町大学	□□□	X,XXX	XX
	S55/11(XX)	△△△学部△△△学科	〇〇博士(大手町大学) H23 年		
		講師	データの解析		
研究開発分担者					
計 2 名			研究開発経費合計	X,XXX	

※1 人数に応じて適宜記入欄を追加してください。

※2 研究経費については、直接経費を記載してください。

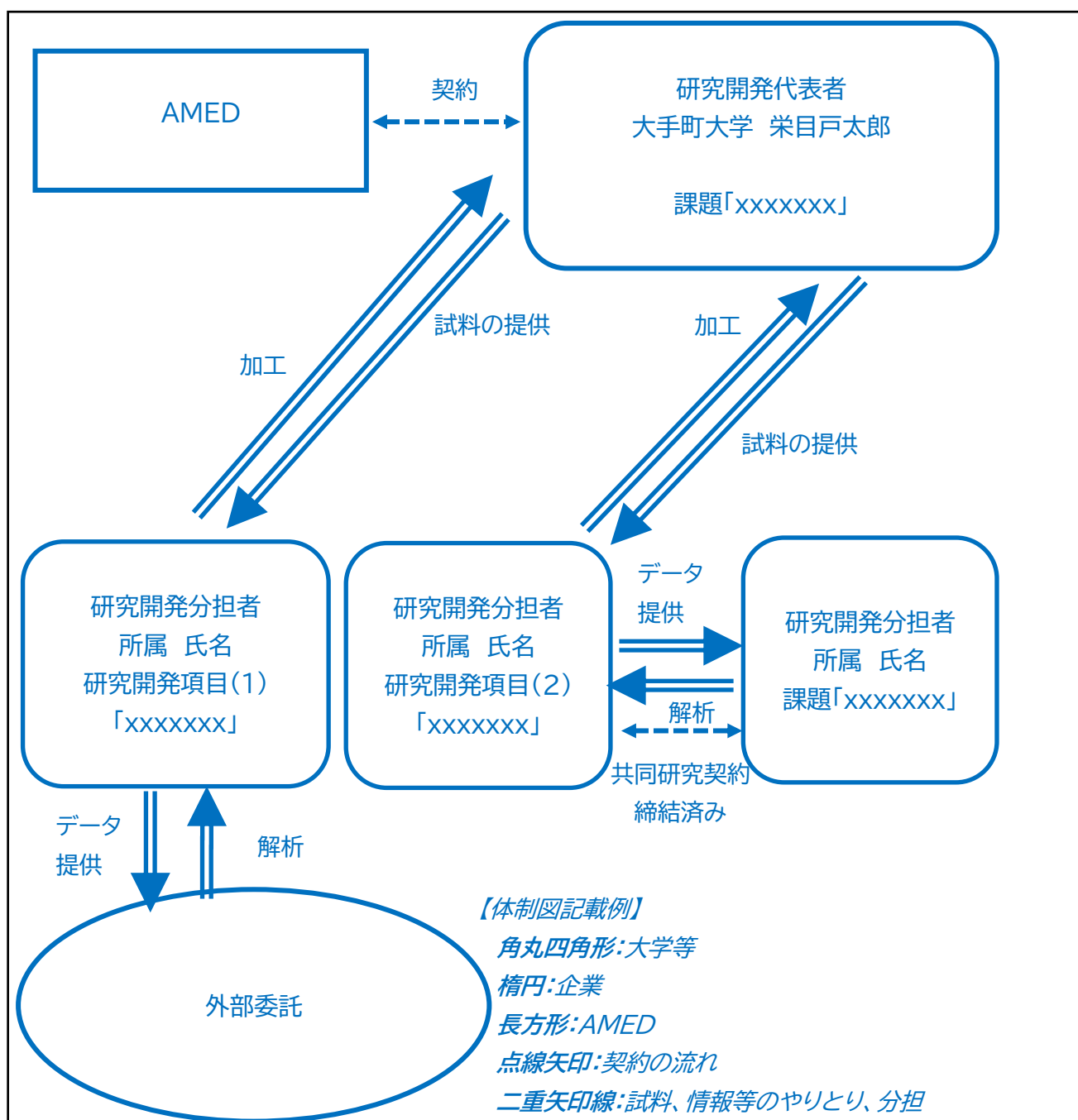
※3 エフォート(%)の記載内容は e-rad 登録内容と同一としてください。

【研究開発代表者のみ】上記の所属機関以外に勤務先がある場合は、記載してください。

※主たる勤務場所が本研究開発課題の主たる研究場所及び上記の所属機関と異なる場合は、その旨記載してください。

機関名	所属部署(部局)	役職
×□大学	〇〇学部	×××
株式会社○△	-	××

3. 実施体制図



※契約の矢印(点線矢印)を記載して下さい。既に契約を締結済みの組織等がある場合は契約済みであることを、契約の内諾が得られている等の場合はその旨を明記してください。ただし、AMED と研究代表者の間には契約の矢印を記載してください。

※枠は機関・企業ごとに記載してください。研究開発項目ごとの記載はしないでください。

※研究開発代表者、研究開発分担者、協力企業等の役割を具体的に記載してください。図は一例を雛形として示していますが、書式は適宜変更して構いません。

4. 研究開発の主なスケジュール

<担当者>

①研究開発代表者:氏 名(〇〇〇大学)

②研究開発分担者:氏 名(〇〇〇大学)

③研究開発分担者:氏 名(〇〇〇大学)

....

研究開発項目 ＜担当者＞	第 1 年度(R9 年度)				第 2 年度(R10 年度)				第 3 年度(R11 年度)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
(1) ○○関連遺伝子発 現解析 ・○○遺伝子の同定 ・○○遺伝子発現解析 ＜①②④＞		←──											

5. 研究開発項目別 研究開発概要

研究開発項目(1)	○○○○○○○○ ※設定する研究開発項目の数に応じてこの表はコピー＆ペーストを行ってください。
研究開発担当者 氏名・フリガナ	1) 栄目戸 太郎(エイメド タロウ) 2) 千代田 次郎(チヨダ ジロウ) ・研究開発分担者は必ずいずれかの研究開発項目を担当してください。 ・各研究開発項目を担当する研究開発代表者、研究開発分担者を記載してください。研究参加者は記載不要です。 ・本項目に関するとりまとめを行う研究者には下線を引いてください。 (研究開発項目ごとに研究者の順番を入れ替える必要はありません)
所属機関・部署・役職	1) 大手町大学・大学院医学研究科・教授 2) 大手町大学・大学院医学研究科・助教

研究開発項目の概要

マイルストーン1 ○○○○

【目的】
○○

【研究開発期間で実施する内容・達成される成果】

※半期ごとの達成事項は削除しないでください。
 ※研究終了時点までに求められる成果を得ているとして、逆算して第1・第2年度の目標を出来るだけ具体的に設定してください。
 ※最終年度の3月まで、半期ごとに記載してください。
 ※検討・考察・検証などを実施した結果として、現時点で達成している具体的事項を現在完了形で記載してください。
 ※また、進捗の遅れや予想した結果が得られないなどの際に、当該研究開発項目についてGo/No-goの判断を行うタイミングを★として以下のように示し、判断を下した後に実施する代替計画を記載してください。
 ※「本マイルストーンは第○年度から開始する」などと記載することも可能です。

[第1年度9月に達成している事項]
○○○…
この欄は、契約締結日～第1年度9月末の間で達成している事項を記載してください。

[第1年度3月に達成している事項]
○○○…
※第1年度10月～第1年度末の間で達成している事項を記載してください。以下同様です。

[第2年度9月に達成している事項]
○○○…

[第2年度3月に達成している事項]★(研究に応じて★の配置は変更してください)
○○○…
★○○○ ←現時点で予定している代替案を記載してください

[第3年度9月に達成している事項]
○○○…

[第3年度3月に達成している事項]
○○○…

マイルストーン2 ○○○○
上記マイルストーン1から転記してください。

6. 協力体制(下記の体制が整備されている際には、詳細を記載してください)

1. プロジェクトマネージャー (記載必須)
(詳細:) (保有資格:○ PMP(PMBOK)○ PMS(P2M) ○その他[])
2. 情報技術(ICT や AI 等を含む)専門家
☐ 有(詳細:研究参加者 大手町大学・情報処理工学 教授 ○○ ○○) (専門分野と実績:人工知能(AI)/ AI を活用した画像診断法の開発) (主な関与と連携が必要な理由:○○教授は取得した画像データを、AI を用いて処理・解析するための助言を行う。病理診断の精度を高めることを目的として、本研究班が保有する画像データを、AI 解析の専門である○○教授の持つ△△技術を用いて処理・解析する。) ☐ 無(理由:)
3. 生物統計家
☐ 有(詳細:研究参加者 大手町大学・生物統計学教室教授 ○○ ○○) (主な関与:○研究企画立案から ○統計処理のみ) (保有資格:○責任試験統計家 ○統計検定 ○その他[]) ☐ 無(理由:)
4. 疫学専門家
☐ 有(詳細:研究参加者 梅田大学・臨床疫学分野教授 ○○ ○○) (主な関与:NDB 等のデータベースを用いた検討に関する助言) (保有資格:) ☐ 無(理由:)
5. 知財担当者
☐ 有(詳細:) (実務経験:○特許庁 ○企業知財部門 ○その他[]) ☐ 無(理由:)
6. ライセンス交渉担当者
☐ 有(詳細:) (保有資格:○弁護士 ○弁理士 ○その他[]) ☐ 無(理由:)
7. その他(必要に応じて追加可)
☐ 有(詳細:) (主な関与:) ☐ 無(理由:)

7. 知的財産について（適宜、知財担当者と相談の上、記載してください。）

1. 知的財産権の帰属 （この欄は入力必須です。記入がない場合、審査に影響はしませんが、事務局から確認します。）	☐ 本研究開発の結果生じた知的財産権を、産業技術力強化法第17条第1項各号に規定する4項目を「国」を AMED に読み替えて遵守すること、本研究開発結果に係る発明等を行ったときは AMED 指定の様式に則った書面にて遅滞なく AMED に報告すること及び AMED が実施する知的財産権に関する調査に回答することを約することを条件として、全て本研究開発の受託者である自らに帰属させることを希望する。
2. 計画と関連する出願済み及び出願予定の特許 該当がない場合は、以下は空欄のまま提出してください。 （複数ある場合は、コピーアンドペーストにより適宜表を追加してください。）	
出願番号	公開番号も合わせて記載してください。国際特許がある場合は、WO 番号で記載してください。
発明の名称	
出願日（優先日）	年 月 日（特許権残存期間： 年 月）
審査請求	☐ 権利化済み ☐ 請求中 ☐ 未請求
分類	☐ 物質 ☐ 用途 ☐ 製剤 ☐ 製法 ☐ スクリーニング法 ☐ 遺伝子 ☐ その他（ ）
発明者	☐ 開発責任者 ☐ 共同研究者 ☐ 国内第三者 ☐ 海外第三者
出願人（特許権者）※	☐ 発明者個人 ☐ 自機関 ☐ 共同研究機関 ☐ 国内第三者 ☐ 海外第三者
出願国	☐ 日本 ☐ PCT ☐ 移行前 ☐ 移行済み（ ☐ 米国 ☐ 欧州 ☐ その他（ 国））
審査請求（日本対象）	☐ なし ☐ あり（ 年 月）
成立国	☐ 日本 ☐ 米国 ☐ 欧州 ☐ 中国 ☐ 韓国 ☐ その他（ ケ国）
ライセンスアウト	☐ 済（ ☐ 独占的、 ☐ 非独占的） ☐ 交渉中 ☐ 未
特許権譲渡	☐ 済（ ☐ 全譲渡、 ☐ 部分譲渡） ☐ 交渉中 ☐ 未 ☐ 予定無し

※出願人（特許権者）が研究開発代表者または研究開発分担者の所属機関でない場合、その機関との関係（契約内容）のわかる資料（契約書の写し等）を添付して下さい。

8. 各年度別経費内訳

(1) 全体経費

（1）直接経費

大項目		中項目	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費	2,000			
		消耗品費				
	2.旅 費	旅費				
	3.人件費 ・謝金	人件費				
		謝金				
	4.その他	外注費				
		その他				
研究開発費 合計						
以下の欄は審査には用いませんが、AMED 事業予算管理のためにご記載をお願いいたします。						
間接経費						
計上額 総計						

単位:千円

※間接経費は直接経費の 30%以内とします。

※必ずしも提案上限額を記載する必要はありません。研究規模に応じて上限額以内で予算を設定してください。
また計上予算内訳も審査の対象となります。

※原則的に、当該研究開発提案書に記載した経費内訳で 3 年間の単年度契約を締結します。継続契約時にも提案書から経費内訳が変更されかつ前年度の進捗報告から必要性が不明である等の場合には、PSPO の判断のもと予算内訳や予算総額の変更を指示する場合があります。

※予算計上は、本研究開発提案の達成に必要不可欠であるものに限ってください。

(2) 研究開発期間全体における直接経費の具体的な内訳や使用目的

1. 設備備品費
2. 消耗品費
3. 旅費
4. 人件費
5. 謝金
6. 外注費
7. その他

(3)研究力向上のための制度(PI 人件費)の希望有無

※※研究力向上のための制度(PI 人件費)の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載ください。(希望しない場合は、記載不要です。)

- ① 直接経費に PI の人件費(の一部)を計上することについて、PI 本人が希望していること。
- ② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。
- ③ PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施していること。

研究力向上のための制度(PI 人件費)とは？ <https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki.html>

研究力向上のための制度 (PI 人件費)の希望有無	☐ 有(以下記載が必須です) ☐ 無(以下は記載不要です。空欄のまま提出してください。)
対象者氏名	
この研究でのエフォート 率	%
申請額	千円/年
期待される効果	

9. 研究業績

■情報基盤の構築・運営に関連し、研究開発代表者もしくは研究開発分担者が執筆に関与した論文・著書のうち、主要なものを最大5報まで記載し、それぞれの論文の要約およびその研究に対する自身の関与した部分を簡潔に記載してください(様式自由)。本文中(研究背景等で)で引用している場合は、文中の引用番号と論文リストに記載の番号を一致させるようにしてください。

■著者名のうち、研究開発代表者および研究開発分担者の氏名には下線を引いてください。

<論文・著書>

XXX, OOO, Taro Eimedo. XXXXXXXXXXXX. Journal of XXX. 2023, vol. 100, p.200-208. doi: XXX.

科学研究費助成事業・基盤研究 B(R2～R4 年度)

論文要約:構築した情報基盤を〇〇学会に周知し、リクルートの促進につなげた。

提案者の関与:研究立案及びプロジェクト管理、論文執筆

10. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の研究開発代表者及び研究開発分担者の応募時点における、(1)応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)、(3)その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。記入内容が事実と異なる場合もしくは申請の事実を意図的に隠ぺいした場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間(教育・医療活動等を含む)を 100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

■当該提案以外の申請中・申請予定の研究助成について、書類提出後に採否が判明するなど、本様式の記載内容変更が生じた際は、本提案書を修正し難治性疾患実用化研究事業(rare-koubou@amed.go.jp)まで再提出してください。

■必要に応じて行を挿入して構いません。また表の幅を適宜変更して構いません。

研究開発代表者:○△ ○□

(1)応募中の研究費(令和 8 年●月●日時点)応募時点の情報を記載してください

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和 9 年度の 研究経費 (直接経費) [期間全体の額]	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 ※本事業への応募段階において他の競争的資金制度等への応募を制限するものではありません。
【本研究開発課題】 (R8 年度～R10 年度)	〇〇と△△に関する 研究 (栄目戸 太郎)	代表	10,000 [24,000] (千円) ※[]には申請者本人が使用する直接経費を記載してください	20	(総額 30,000 千円)* ※研究開発課題全体(直接経費)総額を記載してください

科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R8～R9・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への影響に関する調査研究(〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000] (千円)	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円)* ※研究代表者の場合、研究開発課題全体(直接経費)の総額を記載してください。
令和 8 年度〇〇財団研究助成金(R8・〇〇財団)	××と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000] (千円)	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和 8 年●月●日時点)

(注:R8 年度未までに終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和 9 年度の研究経費(直接経費)[期間全体の額]	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和 8 年度〇〇財団研究助成金(R7・〇〇財団)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	代表	1,000 [3,000] (千円)	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円) 研究代表者の場合、研究開発課題全体(直接経費)の総額を記載してください。
〇〇事業(R6～R8・AMED)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [5,000] (千円)	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* 研究代表者のみ:()内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3)その他の活動(教育・医療活動等を含む) エフォート: 20 %

研究開発分担者:〇△ 〇□

(1)応募中の研究費(令和 8 年●月●日時点)応募時点の情報を記載してください

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和 9 年度の研究経費(直接経費)[期間全体の額]	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 ※本事業への応募段階において他の競争的資金制度等への応募を制限するものではありません。
【本研究開発課題】 (R8 年度～R10 年度)	〇〇と△△に関する研究 (栄目戸 太郎)	代表	8,000 [24,000] (千円) ※[]には申請者本人が使用する	20	(総額 30,000 千円)* ※研究開発課題全体(直接経費)総額を記載してください

			る直接経費を記載してください		
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R8～R9・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への影響に関する調査研究(〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000] (千円)	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円)* ※研究代表者の場合、研究開発課題全体(直接経費)の総額を記載してください。

(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和 8 年●月●日時点)

(注:R8 年度未までに終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和 8 年度の 研究経費 (直接経費) [期間全体の額]	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和 8 年度〇〇財団研究助成金(R7・〇〇財団)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	代表	1,000 [3,000] (千円)	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円) 研究代表者の場合、研究開発課題全体(直接経費)の総額を記載してください。
〇〇事業(R6～R8・AMED)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [5,000] (千円)	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* 研究代表者のみ:()内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3)その他の活動(教育・医療活動等を含む) エフォート: 20 %

11. これまでに受けた研究費とその成果等

- 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費による研究成果等のうち、本研究開発提案の立案および実施する上で活用されているものを選定し、(1)【AMED 事業】と(2)【それ以外の研究費】に分けて記載してください。
- 研究費とは、所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等とします。なお、現在受け入れている研究費も含まれます。
- AMED 事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。
- それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間(年度)、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究開発期間全体の班全体の研究経費(直接経費)を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価(当該研究費の配分機関が行うものに限る。)結果も簡潔に記載してください。

研究開発代表者:○○○○

(1)【AMED 事業】

- ・AMED ○○事業(A)、R1～R3 年度、「○○に関する研究」、代表者、30,000 千円
××××の成果を得て、この成果は○○の論文となった。成果を本提案の△△に活用している。

- ・AMED ○○事業(B)、R3～R5 年度、「○○に関する研究」、分担者、10,000 千円
××××の成果を得た。

(2)【それ以外の研究費】

- ・基盤研究(B)、R2～R4 年度、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

研究開発分担者:○○○○

(1)【AMED 事業】

(2)【それ以外の研究費】

12. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED 事業の研究開発課題において記載を求めるものです。評価に影響はありません。なお、記載内容は今後の AMED 事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

(1) 医学研究・臨床試験における患者・市民参画(Patient and Public Involvement: PPI)について
本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。

※記載に係るポイントは、AMED 公式ウェブサイトをご参照ください

AMED 研究への患者・市民参画:<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

※PPI についての不明点は、AMED 研究開発戦略推進部社会共創推進課にご連絡をお願い致します (co-creation@amed.go.jp)。なお、担当部署からの回答が遅延したとしても、公募締切の延長は出来かねますので、お問い合わせは時間に余裕をもってお願い致します。

(2) 研究内容のキーワード(疾患名以外)を 10 個以内で記載して下さい。

1:○○、2:○○、3:○○、4:○○、5:○○、6:○○、7:○○、8:○○、9:○○、10:○○

(3) その他の研究成果の目安となる数値指標等について

本項目は【5.研究開発項目別 研究開発概要】の各年度[9 月に達成している事項][3 月に達成している事項]に記載している。

※本項目は上記のままとしてください。

(4) 国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について

該当なし

※本項目は上記のままとしてください。

(5) 性差を考慮した研究開発の推進について

AMED が支援する研究開発においては、性差が研究対象や成果に影響を与える可能性がある場合、これを適切に考慮することが望まれます。なお、性差としては、「生物学的性(SEX)」と「社会的・文化的性(GENDER)」の両視点を持つことが重要であり、AMED では事業共通的な取組を段階的に進めていきます。令和 8 年度以降は、「生物学的性(SEX)」に着目しますので、本項目では、「生物学的性(SEX)」に基づき記載をお願いします。

(<https://www.amed.go.jp/program/list/18/01/seisakenkyu.html>)

以下の①、②のうち、いずれか1つを選択してください。残りは削除してください。

①性差を考慮する必要があると判断した

②性差を考慮する必要が無いと判断した

以下に選択の理由を記載してください。

(理由)

〇〇〇

(以下は記載例です。なお、理由の文章は1つでも構いません)

①性差を考慮する必要があると判断した：

- ・マウスを用いた実験では、雄雌差を考慮し、両性を用いた解析を行う。
- ・臨床研究では、リクルート時は被検者の性別の区別は設けないが、データ解析時は性別によるサブグループ解析、層別解析も行う予定である。結果を外部公表する場合は、可能な範囲で公表する。

②性差を考慮する必要が無いと判断した：

- ・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されておらず、現時点で性差の影響に関する知見が得られていないため、性差の考慮は不要と判断した。
- ・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されており、性差による影響が認められていないことが確認されているため、性差の考慮は不要と判断した。
- ・研究試料が非常に限定されている難治性疾患であるため、性差の考慮ができなかった。
- ・技術支援基盤構築を行う課題であるため、考慮は不要と判断した。
- ・知財戦略策定を支援する課題であるため、考慮は不要と判断した。